

**「神の言葉への信頼」**  
**マタイによる福音書 12 章 38-42 節**

2020.11.1

●**アウトライン**

1. 神が与えるしるしとは何か

- ・ 聖書の専門家であった律法学者たち
- ・ 「しるし」とは、イエスが神の子メシア救い主であるという「証拠」。また、神が生きて働いておられることがわかるような「奇跡的な行為や出来事」。
- ・ 主イエスは2つの説明によって、神が人に与える真のしるしについて教える。

①ヨナのしるし

- ・ 「預言者ヨナのしるしのほかには、しるしは与えられない。」(39 節)

②ヨナの説教とソロモンの知恵にまさるもの

- ・ ヨナの説教にまさるキリストの言葉
- ・ ソロモンの知恵にまさるキリストの知恵
- ・ 神の言葉そのものであるイエス・キリスト

2. 神の言葉への信頼

- ・ 「天からのしるし」としてのイエス・キリスト、神の言葉
- ・ 神の言葉以外のしるしを求める私たち
- ・ 御言葉の内に私たちに必要なすべてのものが詰まっている！

●**聖書箇所**

**【テサロニケへの信徒への手紙 2 章 13 節 新約聖書 375 ページ】**

「このようなわけで、わたしたちは絶えず神に感謝しています。なぜなら、わたしたちから神の言葉を聞いたとき、あなたがたは、それを人の言葉としてではなく、神の言葉として受け入れたからです。事実、それは神の言葉であり、また、信じているあなたがたの中に現に働いているものです。」